

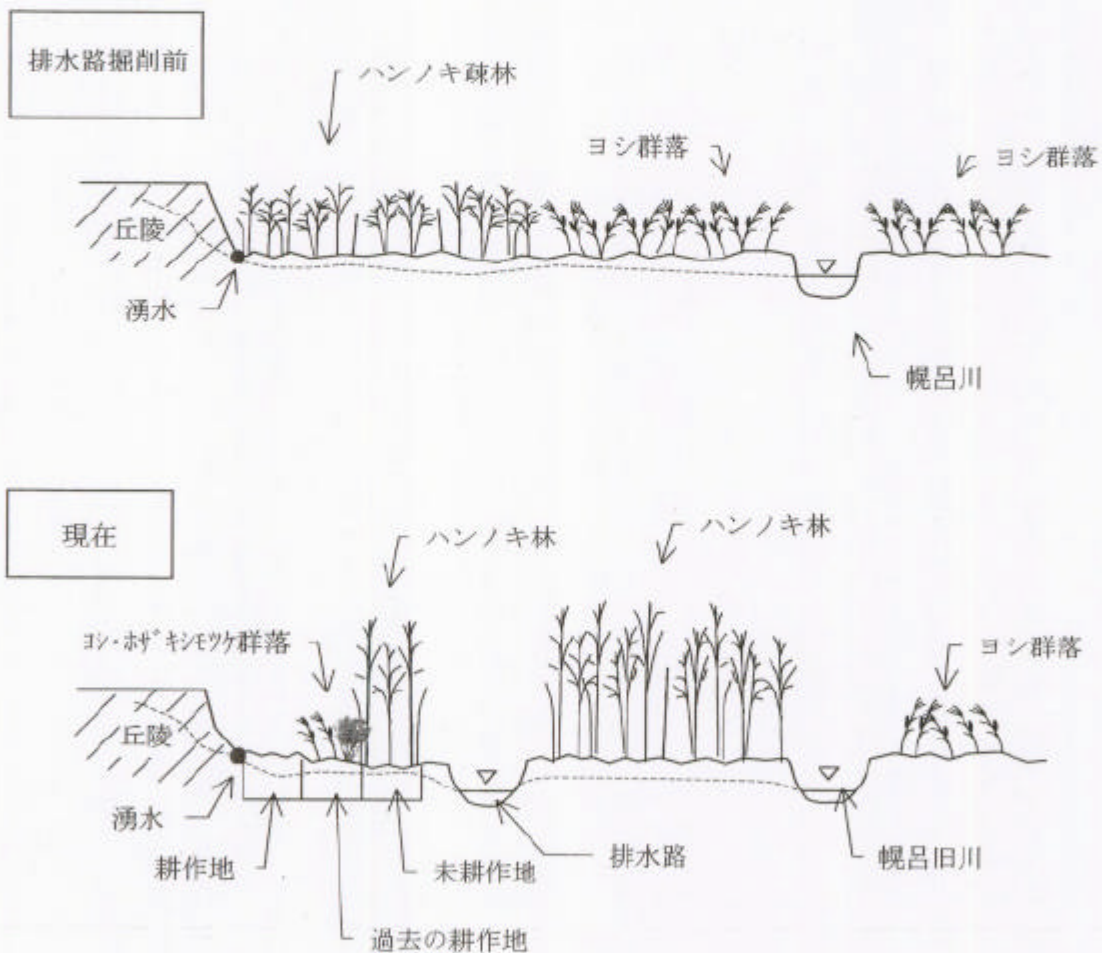
### 5.3 当地区の自然再生の目指す方向

今回の湿原再生箇所周辺は、幌呂川沿川部と台地から湿原に向かう移行帯であり、小さな沢の出口に微高地を作ったり、若干の湧水を受けている区間である。

下幌呂地区では、幌呂川沿川部の湿原環境と台地から湿地までの間の湿原移行帯からなる本来の湿原環境を再現することが重要である。

また、微地形や湧水、排水路、地下水位等の良好な水環境の改善を図る必要がある。

さらに農地と湿原の接点である本地区は、湿原中心部のバッファーとしての機能を持たせる。



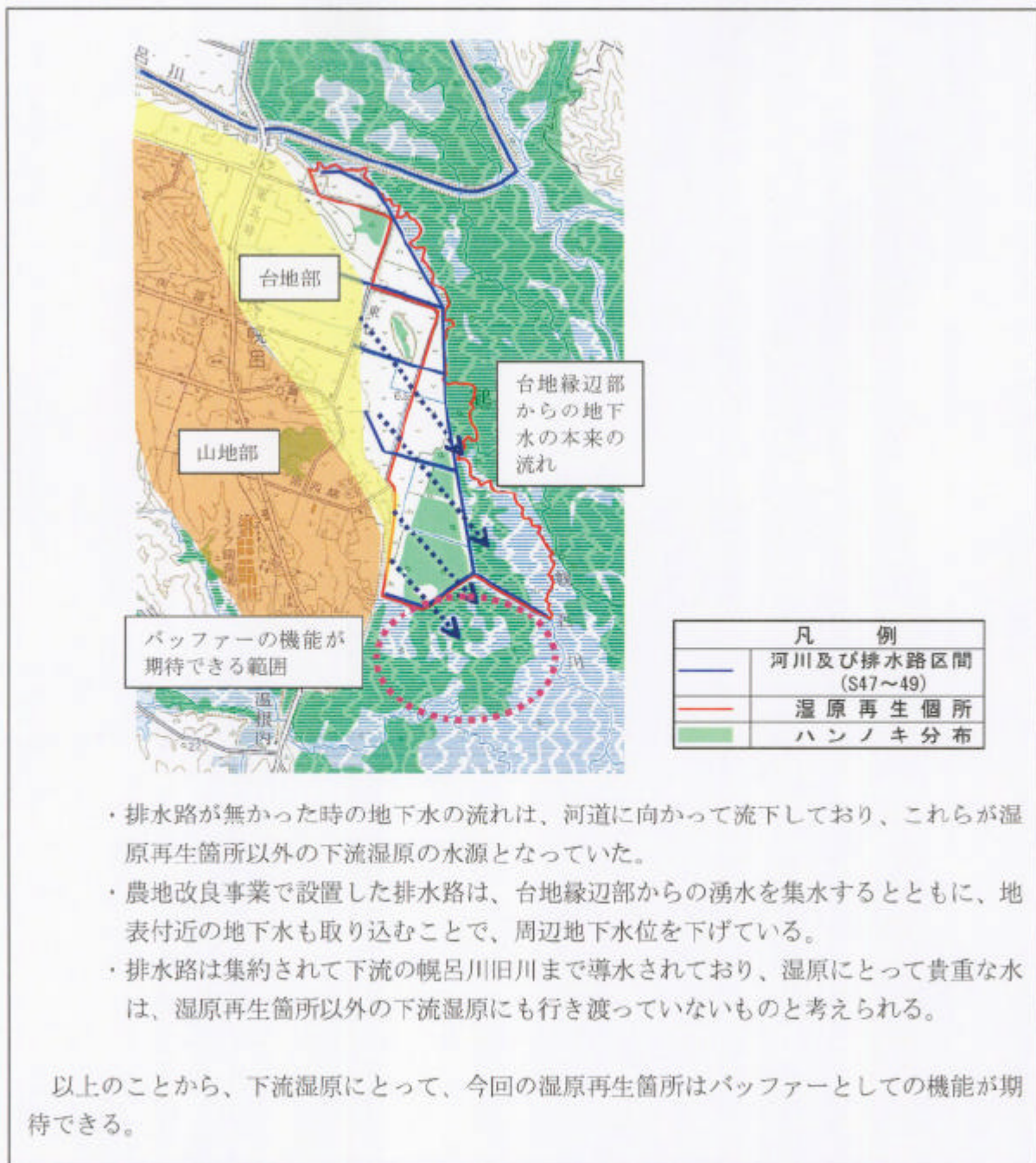


図 5-13 バッファとしての機能